

声なきSOSを受け止める

近年、労働・雇用環境の変化、人口減少、少子高齢化、核家族化等を背景とした単身世帯や単身高齢者の増加といった社会環境の変化等により、地域社会を支える人と人との関係性や「つながり」は希薄化の一途をたどっています。

こうした孤独・孤立への支援は、社会福祉法人の重要な使命・役割の一つと考えられ、生きづらさを抱えている方々をしっかりと受けとめることが必要です。安心して過ごせる場所、役割を感じられる機会を得て「つながり」を回復することができるよう、社会福祉法人として法人が持つ機能やネットワークを活用して何ができるのかを考え、ひきこもり等への理解を深め、支援のネットワークを広げていくため本セミナーを開催いたします。

日 時 令和6年1月16日(火) 13:30~15:30

会 場 新日本海新聞社 中部本社ホール(倉吉市上井町1丁目156)

対 象 ・社会福祉法人役職員等 ・民生児童委員 ・えんくるり事業相談員
・県内の市町村行政・社協において生活困窮者自立支援事業を担当する職員、福祉を担当する職員 ・その他興味関心をお持ちの方々

【日程】 13:00 13:30 15:00 15:10 15:30

受付	講演	休憩	事務局説明	閉会
----	----	----	-------	----

NHKプロフェッショナルに
ご出演!

【講演】 「孤独・孤立を防ぐ支援のあり方
～社会福祉法人としてできること～」

講師：認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス

代表理事 谷口 仁史 氏



2003年の設立以来、家庭や学校、社会において、孤立する子ども・若者に寄り添う。

過去20年、家庭教師方式(関与継続型)のアウトリーチ(訪問支援)を中心に68万件超の相談活動に従事すると共に、社会的孤立・排除を生まない総合的な支援体制の構築に向け、「協働型」「創造型」の取組を推進。不登校、ひきこもり、非行、若年無業者等、自立に困難を抱える子ども・若者の悩みや苦しみに寄り添い支援を行う。

アウトリーチのプロフェッショナルとして、カウンセリングから学習支援、家族支援、居場所づくり、就労支援等、孤立からの脱却から社会参加・自立に至るまで総合的な相談支援事業に取り組む。

コロナ禍で深刻化した社会的孤立に係る問題に対して、「必要なものは『協働』で創り出す!」政策提言を通じた法律や制度の創設、社会資源の開発を進め、誰もが希望を見出せる、包摂的な地域社会の構築を目指す。

NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』平成27年8月31日放送出演。

【事務局説明】えんくるり事業

「ひきこもりの状態にある方等の就労体験事業」について

説明者：鳥取県社会福祉協議会 地域福祉部

えんくるり事業では、生活困難者等で支援の狭間にある方に対し、県内の社会福祉法人が連携して相談・支援を行っており、今年度より、ひきこもりの状態にある方等への社会参加・就労支援として社会福祉施設等での体験受入れを行う「ひきこもりの状態にある方等の就労体験事業」を実施しています。

【定 員】 150名 【参加費】 無料



【申込方法】

下記Googleフォーム・QRコードからアクセスいただき必要事項を御記入のうえお申込みください。

<https://forms.gle/kJaPJQH942S5YkQZA>



※大雪や感染症等の流行の場合はオンライン開催の可能性がります。

Zoomの招待メールをお送りしますので、当日使用されるパソコンのメールアドレスを御記入ください。1台のパソコンで複数人ご参加可能です。

※下記参加申込書に必要事項を御記入の上、電子メールまたはFAXでもお申込みいただけます。

申込締切：令和6年1月9日（火）

【お問合せ・お申込み先】

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会（担当：小椋、川瀬）

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内

（TEL）0857-59-6332

（FAX）0857-59-6340

HP <http://www.tottori-wel.or.jp/>

Eメール chiiki@tottori-wel.or.jp

地域貢献セミナー 参加申込書

氏名	所属	役職	連絡先	アドレス

※ 申込締切：1月9日（火）

鳥取県社会福祉協議会 地域福祉部（担当：小椋、川瀬）
電話：0857-59-6332 FAX：0857-59-6340